

# 事業所のカーボンニュートラル

(実施期間：2020～2030)

技術テーマ区分番号：⑳

主な実施場所：環境負荷の高い日本・海外の事業所

## 取組活動の内容

### 事業目的・概要

- 日立製作所は2016年に2050年を見据えた環境長期目標「日立環境イノベーション2050」を発表し、中長期的視点での活動を推進してきた。そして、企業活動全体での環境価値の創出を加速するため、2030年度までに自社の事業所におけるカーボンニュートラルを2020年5月に宣言した。
- カーボンニュートラル実現に向け、製品設計・プロセスの見直し、製造設備の省エネルギー化、再生可能エネルギー設備の導入・再生可能エネルギーの使用などを推進する。
- カーボンニュートラルを推進することで、企業としての脱炭素社会実現への貢献、お客さまとの協創を通じた自社ノウハウのご提供、ゼロエミッションエネルギー供給量の拡大と低コスト化の後押しになると期待している。



図1：高い環境性能と快適性を両立した「協創の森」のオフィス  
(日立製作所 中央研究所)

### 関連外部リンク先

- [http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/05/0529a/f\\_0529apre.pdf](http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/05/0529a/f_0529apre.pdf)

## イメージ図

**【脱炭素社会の実現】**  
バリューチェーンを通じて CO<sub>2</sub>排出量を  
2030年度までに50%削減、2050年度までに  
80%削減（2010年度比）

**【高度循環社会の実現】**  
自社での水・資源利用効率を2050年度まで  
に50%改善（2010年度比）

**【自然共生社会の実現】**  
自然資本へのインパクトの最小化

図2：「日立環境イノベーション2050」の概要